

令和7年度第1回 栗東市地域公共交通活性化協議会

議 事 録

[日時] 令和7年6月16日(月) 13:56~14:56

[場所] 栗東市危機管理センター 3階 大研修室

[会議次第]

1. 開 会
2. 挨拶
3. 議 題

〈協議事項〉

- ① 令和6年度事業報告、会計収支決算について
- ② 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ③ 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

〈報告事項〉

- ① 令和7年度委託業務について
- ② 令和6年度栗東市コミュニティバス「くりちゃんバス」の利用状況について
- ③ 栗東市内を運行するバス路線の一部ルート変更について
- ④ 夏休みこども無料乗車実証実験について
- ⑤ その他

4. 閉 会

1. 開 会

事務局 本会議は、公開としてよいか。
一同 異議なしの声。
事務局 本日の傍聴者はいない。
会長より挨拶を願う。

2. 挨拶

・会長挨拶 本日はご多用のところ出席に感謝する。平素は、市政各般、とりわけ交通政策推進へのご支援に感謝する。本協議会は、生活交通確保維持方策、利便性向上について協議、検討、調整のために設けられている。議題は、議事のとおりである。忌憚のないご意見をいただきたい。

事務局 委任状は、机上に配布している。期間は、本日より2年間とする。
委員は、19名中17名出席、委任状2名であり、本会議は成立している。
以降の進行は、会長に願う。

会長 監査委員を指名する。田中委員、平田委員を指名する。

3. 議 題

<協議事項>

①令和6年度事業報告、会計収支決算について

資料説明 資料1に基づき、事務局より説明
会長 監査報告を求める。
監査委員 監査したところ、適正な処理と認めることを報告する。
会長 ご意見・ご質問等はあるか。本事項は、承認としてよいか。
一同 異議なしの声。
会長 本事項は承認とする。

②令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

資料説明 資料2に基づき、事務局より説明
会長 ご意見・ご質問等はあるか。本事項は、承認としてよいか。
一同 異議なしの声。
会長 本事項は承認とする。

③令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

資料説明 資料3に基づき、事務局より説明
会長 ご意見・ご質問等はあるか。本事項は、承認としてよいか。
一同 異議なしの声。
会長 本事項は承認とする。
この時点をもって、草津市、守山市の担当者は、退席する。

<報告事項>

①令和7年度委託業務について

- 資料説明 資料4に基づき、事務局より説明
- 会長 ご意見・ご質問等はあるか。
- 委員 契約主体は、協議会とある。協議なしに発注したのか。
- 事務局 2月協議会でご説明、協議し承認いただいている。
- 委員 前回の議題であったのか。
- 事務局 資料1の2頁に記載した第4回協議会で協議、ご承認いただいた。
- 委員 結構である。当時は、契約額の記載の記憶がない。
- 事務局 前回協議会では、金額の説明はしていない。予算案で初めて提示した。
- 委員 委託金額の概略を説明いただきたい。
- 事務局 前回協議会でご説明と重複する。利用実態データ分析、路線再編検討、本協議会支援、栗東市地域公共交通計画の修正準備、協議・打合せ、報告書作成を総合したものである。
- 委員 具体的な内容を知りたかっただけである。
- 委員 3点うかがいたい。
- 1点目、路線バスと民間路線バス双方を検討対象とするか。
- 2点目、バス路線の見直しは、バスからデマンドへの転換を含むか。
- 3点目、見直しの方向性として、栗東市内で実現しているバス路線のサービスレベルの方向性として、上げる・維持・下げる、といったことが決まっているか。
- 事務局 1点目、コミュニティバスのみならず民間路線バスを含む。
- 2点目、手段の変更について、市内で最適な地域公共交通を検討し、デマンド交通を含む検討としたい。
- 3点目、栗東市において適している交通体系を検討していく。サービスレベルは、あわせて検討していく。
- 委員 路線バスは、帝産湖南交通、滋賀バスの路線を含むか。
- 事務局 ご認識のとおりである。
- 会長 他に質問、意見はあるか。無いようなので、次の議題に移る。

②令和6年度栗東市コミュニティバス「くりちゃんバス」の利用状況について

- 資料説明 資料5に基づき、事務局より説明
- 会長 ご意見・ご質問等はあるか。
- 委員 成谷方面までバスを実験的に延伸していただけないか。検討をいただきたい。
- 事務局 今年度の委託業務のなかで、市民意見や利用実態データの整理のなかで検討していく。
- 委員 試験的でもよい。1~2か月でもよい。利用いただけるかもしれない。免許を返納したくてもできないという声を聞く。「バスが来ないから」という声もある。検討いただきたい。
- 委員 利用者数は、路線別に把握しているのか。

- CFK
委員 路線別、日別にバス事業者より情報提供をいただいている。
市民1人あたりの欠損額は、令和5年度で898円とのことである。この数字は高いか、低いかな。
- CFK
これが正解という基準はない。ある市長では、「市民1人あたり1千円」を基準とされる例もあった。これは、図書館等の負担を考慮した結果と聞いている。
世帯については、世帯でだれからこの程度利用いただければ路線が維持できるという視点から提示している。
- 委員 承知した。
- 会長 他に質問、意見はあるか。無いようなので、次の議題に移る。

③栗東市内を運行するバス路線の一部ルート変更について

- 資料説明 資料6に基づき、事務局より説明
- 会長 ご意見・ご質問等はあるか。無いようなので、次の議題に移る。

④夏休み子ども無料乗車実証実験について

- 資料説明 資料7に基づき、事務局より説明
- 会長 ご意見・ご質問等はあるか。
- 委員 対象路線は、大宝循環線のみか。
- 事務局 大宝循環線、宅屋線を対象としている。
- 委員 小学生の利用が現状で見られないとのことである。移動は、目的があるものであり、草津駅周辺での買物や、JR乗継ぎ等がある。今回のターゲットは、どのように考えるか。
- 事務局 まずは小学生以下の人が地域公共交通に慣れ親しむきっかけと考えている。
- 委員 実施自体は素晴らしく、目的も理解する。知っていただかなければ利用されないの、周知をしっかりといただきたい。
近江鉄道では「ガチャフェス」を実施した事例がある。バスはあくまで手段である。目的があってバスを利用いただくという観点を持っていただけると、次年度以降を含めよい取組になる。
- 事務局 ご意見を踏まえ、実証実験終了後に来年度以降の取組を検討することになる。草津市、守山市と協議しつつ進める。
- 委員 金曜に買物に乗っていた人が土曜に転換するだけであれば、思惑と異なる可能性がある。無料化は、よい施策であるが劇薬にもなりうる。協議しつつ進めていただきたい。
- 会長 他に質問、意見はあるか。無いようなので、次の議題に移る。

⑤その他

- 会長 他に意見等はあるか。
- 事務局 事務局からは、特にない。
- 委員 資料「合同バス事業所説明会」に基づき説明
- 会長 他に意見等はあるか。無いようなので、議長の任を終える。

4. 閉会

事務局

慎重なる審議に感謝する。本日はご多用の中のご出席に感謝する。

以上